

【 神奈川 】

「令和4年度 神奈川県公立高等学校入学者選抜学力検査問題 共通選抜 全日制の過程 (追検査)」より

問題

問7 Kさんは、日本と国際機関とのかかわりについて発表するために、次のメモを作成した。これについて、あとの各問いに答えなさい。

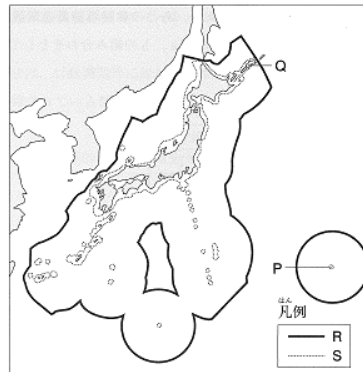
メモ

国家は、主権、住民（国民）、①領域という三つの要素から成り立っています。主権をもつそれぞれの国家が主張を強めるだけでは、様々な紛争に発展するおそれがあります。紛争の発生を防ぐために、近代以降、様々な国際機関が設立されました。

20世紀前半に設立された国際連盟では、②新渡戸稲造が1920年から1926年にかけて事務次長を務め、戦争の再発防止に尽力しました。第二次世界大戦がおこった背景に経済的利害の対立があったと考えられたことから、20世紀半ば以降に様々な国際機関が設立され、国際経済制度の整備が進みました。現在では、世界貿易機関（WTO）によって、③貿易の自由化を推進するための交渉が進められています。また、民間の団体によって、④貧困問題を解決するための取り組みも進められています。

(ア) 線①に関して、次の略地図は、日本とその周辺の地域及び日本の領海と排他的経済水域を示したものである。あとの文a～eのうち、この略地図について正しく説明したものの組み合わせとして最も適するものを、1～6の中から一つ選び、その番号を答えなさい。

略地図



- a Pの島は、日本の領土の端にあたる与那国島である。
- b 20世紀半ば、ソビエト連邦は、日ソ中立条約を破りQの島に侵攻した。
- c Sの線からRの線までの範囲にある海では、すべての国の船が自由に漁業をおこなうことができる。
- d 日本の排他的経済水域は、沿岸からSの線までの範囲である。
- e 沿岸からSの線までの範囲にある海は、日本の主権が及ぶ範囲である。

1. a, c 2. a, d 3. a, e 4. b, c 5. b, d 6. b, e

解答

問7 (ア) 6